

'97年公民館活動を振り返って

97年も余すところあと半月程になりました。公民館では、様々な活動に取り組み大勢の皆さんから参加していただきました。来年も参加しやすい事業づくりを目標として、今年一年の活動を振り返ってみたいと思います。

〈家庭教育〉

つくしんぼ

○才から三才までの子を持つ育児者を対象に集まっている学級です。子供さんと一緒に「ミニ運動会」や「町の施設巡り」をやって仲間づくりに努めています。

あすなろっ子広場

四才から就学までの子を持つ育児者を対象に集まっています。親を対象に、講義やおやつ作りにと学習しています。

〈青少年教育〉

親子チャレンジ教室

小学生とその両親を対象とした学級です。キャンプ活動や畑づくりなど様々な活動を通して団体行動や親子のふれあいを高めています。



親子チャレンジ教室

〈成人教育〉

おもしろ雑学講座

町在住の方が皆さんに自分の経験や知識をお話ししていただく講座です。絶対タメになる講座です。

生きがい講座

高齢者を対象とし、「生きがい」について有識者からお話ししていただき、人生をどう

過ごすかを学んでいきます。

〈婦人教育〉

婦人学級

各分館(小須戸・矢代田・横水・新保)では地域の中の仲間づくりを通して、レクリエーション、料理、講義など楽しく活動しています。

〈入門教室〉

花いっぱい教室

折り紙教室

陶芸教室(夜間)

ゴルフ教室

初心者社交ダンス入門教室

カヌー教室

パソコン教室

絵手紙講座

楽しい年賀状教室

今年新たに開級した教室や専門的な教室に大勢の参加をいただき大好評でした。



花いっぱい教室

〈生涯学習事業〉

有志指導者の方を、希望グループへ派遣し、地元の会場で教室を開催しました。

〈文化祭事業〉

町民展・文芸展・活動展等(来館者100名)

作品展数三〇〇点以上の力作が一堂に会しての町民展で、

各々展示会場には工夫を凝らした作品が飾られ、公民館は文化の秋真つ盛りでした。

◆第十三回芸能祭

(来館者300名)

今年も「子供樟ばやし」からスタート。参加団体二十七団体の皆さんが踊りや唄等を披露し一年間の成果を見せていただきました。

◆第十四回文化公演会

(来館者100名)

元東映東京撮影所長の幸田清先生を迎え、「男はつらいよ」と「トラック野郎」の私の映画人生と題した講演をしていただきました。

映画作りを通して感得した仕事観、人間観、そしてスターの素顔などを語っていただいた貴重な講演会でした。

〈分館活動〉

分館運動会や講演会、文化祭など色々な面で地域の為に事業を取り組んでいます。

〈視聴覚・図書・広報活動〉

◆夏休み・冬休みアニメ映画会

◆図書室夜間開放(毎週金曜日)

◆ふれあい会館移動図書

◆情報「こすど」の発行

◆公民館報毎月一回の発行

今年一年間、公民館活動に参画いただき感謝申し上げます。

来年も是非活動に参加していただき、生涯学習に力をいれていきたいと考えております。

一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。公民館職員一同

公民館職員一同

11月のナイスショット



8日「親子チャレンジ教室」親の助けをかりながら紙飛行機づくり。子供たちも熱中。

寄贈御礼

新栄町五 西山実様
白と杵の寄贈ありがとうございます。

平成九年度新潟県民芸術祭芸術部門
入選おめでとうございました。

小須戸町から二名の方が入選されました。

◆短歌
我妻清作さん(若葉町三)

◆俳句
吉田林哉(素糸)さん(本町二)

◆冬休みマジックのアニメ映画会
楽しい手品と大画面でのアニメをみましょう!!

◆期日 十二月二十六日(金)

◆①午前十時から十一時三十分

◆中央公民館三階ホール

◆②午後二時から三時三十分

◆ふれあい会館

◆上映内容 ハチ公物語他三本

◆ふれあい電話相談

◆一月の相談日

◆九日(金)十八日(金)二十三日(金)

◆三十日(金)

◆受付時間

◆午後一時〜五時

◆電話番号

◆三八一三三〇〇

◆お名前を言わなくて結構です。

◆秘密は固く守ります。

シリーズ「今、子どもたちは」(16)

未来のヒーロー・ヒロイン 小須戸中学校

十月二十六日、小須戸中学校では作品展が実施されました。

生徒会の新しい取り組みとして、未来のヒーロー・ヒロイン'97 in 小須戸というイベントが行われました。これは、生徒が美術や技術・家庭で

作った物を展示するだけでなく、他の教科で創り上げたものを発表する場も欲しいという意見から、今年度実現したものです。

発表内容は、体育での創作ダンス、英語によるスピーチ、ピアノの独奏、コンピュータによる演奏と多岐にわたるもので、当日は体育館に多くの生徒、保護者の方々が集まり、大変に盛り上がるイベントとなりました。

来年度は、より参加者が増えて、さらに規模を拡大した中で小須戸中学校を内外にアピールしていければと願っています。



作った物を展示するだけでなく、他の教科で創り上げたものを発表する場も欲しいという意見から、今年度実現したものです。

文芸欄

柳 仮名文字の母の筆あと身に伝え 渡邊信子

命名の依頼素直に筆を執る 我妻清作

誤字目立つ老婆の筆は親しまれ 長井武雄

自己流と言う毛筆が冴えて居り 高橋ただし

川 コスモスの群れ咲く中に亡き父の面影浮かび我を見て 野俣怜子

雀二羽付かず離れず庭先で何を食みてか秋は暮るるに 村木リツ

庭の苔ふむなど父に叱られし幼日想い我が庭を見る 河内ヒロ

短 初めての母の乳首の感触に似て 村山文子

いるあけびの種をしゃぶりぬ

歌 秋時雨ひっそり膝を病んでをり 藤井 春

草虱付けて親子で缶拾ふ 渡邊信子

在りし日のうしろ姿や石路の花 間野えり

荒れ畑の枯野のように風に鳴る 長井武雄

北国のトンネル抜ける秋の晴 井本マツ子

空見上ぐ空に君の瞳の秋の雲 佐久間久子

辻々に父母の立つ朝の霧 吉田素系

吾輩の名はトラである秋桜 中野太浪

浪ころし越えて湊くる秋の虹 内山越楼